

過去問プラス^{PLUS} 判断推理 No. 19

国家専門職 2016 その他の推理

難易度 ★★★★★

重要度 ★★★



参考項目 判断推理ザ・ベスト プラス #6

数的推理ザ・ベスト プラス #12

問題

ある人は、各日の天気（晴れ、雨、曇り）と曜日に応じて、次のような作業を計画して実行している。

- ・晴れの日、日曜日を除き、山で仕事をする。
- ・雨の日、日曜日を除き、家で民芸品を50個作る。
- ・曇りの日は、日曜日を除き、町に行き、民芸品を物産店に20個納める。
- ・日曜日は、天気にかかわらず町に行き、民芸品を物産店に50個納める。

いま、ある年の6月の状況について次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。ただし、各日の天気は、晴れ、雨、曇りのいずれか一つに決まるものとし、民芸品の在庫は6月1日時点で家に十分な個数があるものとする。

- ア 最後に民芸品を物産店に納めた日は6月27日であった。
イ 民芸品を物産店に納めた日は合計で12日であった。
ウ 6月の1か月間で、家にある民芸品の在庫は240個増えた。
エ 火曜日は、6月最初の火曜日を除き全て雨で、6月に作った民芸品の3分の1は火曜日に作ったものであった。
1. 6月で晴れの日合計で10日であった。
 2. 6月に山で仕事をした日は合計で8日であった。
 3. 6月に作った民芸品は450個であった。
 4. 6月10日は木曜日であった。
 5. 6月22日は民芸品を物産店に納めた。

解説

4週間で28日ですから、1か月の第5週は29日からです。

条件アより、28日以降に日曜日はありませんので、6月の日曜日は4回だけで、条件イより、日曜日以外の曇りの日は $12 - 4 = 8$ (日)と分かり、この月に物産展に納めた民芸品の数は、 $50 \times 4 + 20 \times 8 = 360$ (個)となります。

そうすると、条件ウより、この月に作った民芸品の数は、 $360 + 240 = 600$ (個)とわかり、ここで、肢3が消去で

過去問プラス PLUS 判断推理 No. 19

きます。

また、条件エより、火曜日に作った民芸品の数は、 $600 \div 3 = 200$ (個) ですから、雨の日は $200 \div 50 = 4$ (日) で、この月の火曜日は5回あったと分かります。

すなわち、29日、30日のいずれかが第5火曜日になりますが、30日が火曜日だと、28日が日曜日になり、条件アに反します。

よって、29日が火曜日で、6月の暦は以下のようになり、ここで、肢4の正解が分かります。

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

この月の日曜日以外の日は26日あり、作った民芸品は600個ですから、雨の日は $600 \div 50 = 12$ (日) で、曇りは8日ですから、晴れの日は、 $26 - 12 - 8 = 6$ (日) となり、これが山で仕事をした日数になります。

これより、肢2は誤りで、肢1は日曜日の天気の情報がないので確実にはいえません。

また、肢5について、22日は火曜日で、条件エより雨ですから、民芸品を作った日になり、誤りです。

以上より、正解は肢4です。

正解 4



この人、休まないんだね!?
働き者だね~

私たちと一緒にね♪

